

平成 17 年 12 月 14 日

「としま子育てサロン」がゆったりした時間を親子に提供 ～民生委員・児童委員だけで自主運営～

14 日（水）、洞雲寺「龍泉菴」（どううんじりゅうせんあん 池袋 3-5-30）で、民生委員・児童委員による「としま子育てサロン」が開催され、本日は 18 組 38 名の親子が参加した。外は師走の冷たい風が吹く中、会場では、乳幼児、若いママさんたちとサロンのスタッフの子育ての先輩ママでもある民生委員・児童委員との温かく楽しいひとときがもたれた。

この日のスタッフは 10 人。エプロン姿の女性の委員さんが室内に 7 人、奥まった場所のため案内や不審者の警戒にあたる男性の委員さんが屋外に 3 人。

「びよびよ」という名前のこの地区のサロンでは、「親子がのんびり、ゆったりとした時間をすごしていただくとともに、お友達作りや子育て情報収集、相談の場としてお役立てください」と利用を呼びかけている。場所は、JR 池袋駅西口から 600 メートル、東京メトロ有楽町線要町駅から 200 メートルほどの大通りに面してマンションや事務所ビルが立ち並ぶ地域にあっても、3 つの寺に囲まれ、落ち着いた雰囲気建つ寺院の別菴にある 40 畳ほどの和室。

「としま子育てサロン」は、**今年 5 月から**、ここ池袋西地区始め、区内全域の 6 地区民生委員児童委員協議会が、子育てにおける「孤立化防止」、「支え合い」、「虐待防止」を事業の 3 つの柱として、それぞれの地区で、**ほぼ毎月 1～2 回**、午前中を中心に 2 時間実施している。会場は、ここ洞雲寺「龍泉菴」以外は区立児童館。区内では、243 名の民生委員・児童委員が活動しているが、全員が運営に参加している。利用者としての参加対象は、**0～3 歳児の親子とプレママ**。参加無料。

区内 6 地区の 5 月から 9 月までの実施状況は、29 回、参加者数延べ約 1,000 人、スタッフは延べ約 250 人。（この会場では 4 回、参加者数延べ約 128 人、スタッフは延べ約 36 人。）

地区会長の西矢亥津子さんは、「**都内でも、公的なところと一緒にということではなく、民生委員・児童委員だけの自主運営で行っているものは、豊島区以外には、ないのでは**」。「なにかするといふより親子が自由に過ごせるようにしています。また、あまりおもちゃを置かず、自宅ですることにはしないようにしています。参加しているおかあさんからは、こういう場が欲しかったといわれます。スタッフの民生委員・児童委員からは、赤ちゃんに接することができてうれしいという声もあり、楽しみながらやっています」。「この場所で行うことになったのは、おかあさん方から、小さな子どもだけでゆったり過ごせる場所がほしいということを知り、近くのお寺さんをお願いしたところ、無償で場所を 3 年間使わせてもらうことができたためです」「妊婦さんがプレママとして参加されることもあります」といふ。

スタッフの一人は、「情報があまりに多くて、かえって子育てに不安を感じているおかあさんもいるようです。おかあさんの話を聞いてあげることで、ストレス解消のお手伝いできたようで

す」と語る。

1歳3か月の男の子をつれて参加していた清(せい)朋美さんは「デパートのおもちゃ売り場や公園に出ることがありますが、普段は家にいることが多いです。ここでは、他のおかあさんとも知り合いになれます。サロンがないときにも、知り合った人とメールで情報交換をしています。スタッフの方に、授乳や子どもの食事のことを聞いたりもできました」という。

詳細：豊島区池袋西地区民生・児童委員協議会会長